

# 瑞穂地区だより

【編集・発行】

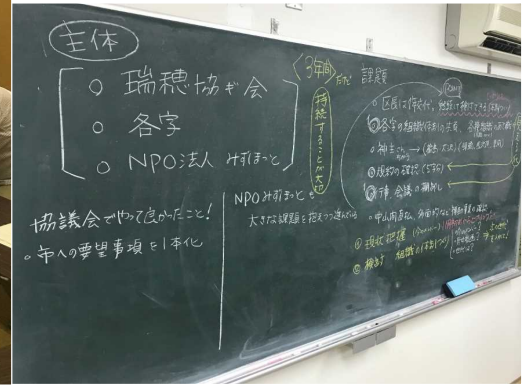
瑞穂協議会

妙高市地域共生課

新潟県地域づくりサポートチーム



令和元年度の話し合いの様子



## ～ 瑞穂地区の将来について考える ～

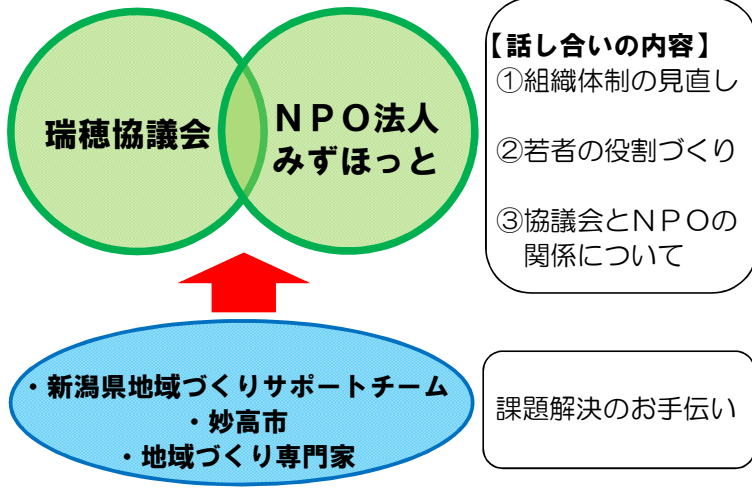
瑞穂地区では、令和元年度から地区の将来について考えるための話し合いを行っています。

「猿橋」「楡島」「東関」「長沢原」「大沢新田」の各区長、瑞穂協議会、NPO法人みずほっとが協働して話し合いを進め、「新潟県地域づくりサポートチーム（上越地域振興局）」が、「妙高市」や「地域づくり専門家」と連携して、話し合いのサポートを行っています。

瑞穂地区は、平成29年に実施したアンケートの結果から、瑞穂協議会とNPO法人みずほっとを含めた「組織の運営体制」の課題や、「若者が地域のことを知らない」「若者の声を聞く必要がある」といった若者の地域への関わり方の課題などが見えました。これらの課題を解決し、いつまでも安心して暮らせる瑞穂地区を目指しての協議を行っています。

この「瑞穂地区だより」では、住民の皆さんに活動について知っていただくために、話し合いの内容などを紹介していきます。

### 【話し合いの体制図】



### 新潟県地域づくりサポートチームとは？

人口減少や高齢化により、地域づくりの担い手が不足する中、地域課題の解決に向けた住民の主体的な取組を後押しするため、県の職員が、3年の期間をかけて地域の取組を支援するものです。

メンバーは、上越地域振興局内の各部や妙高砂防事務所などから選出した職員6名を中心に構成し、瑞穂地区の課題解決のお手伝いをしていきます。

# 令和元年度の活動内容

令和元年度は、瑞穂地区の将来像について話し合い、3つの検討項目を決定しました。

検討項目の話し合いを進めていくにあたり、各大字や瑞穂協議会、NPOみずほっとに聞き取り調査を行い、役員の体制や会議の回数、年間行事などの実態を把握しました。

## 瑞穂地区が目指す将来像

「自らの運営により、いつまでも持続していける地域」

## 将来像の実現に向けた検討項目

### ①地域づくり組織の運営体制の見直しについて

- ・瑞穂協議会や5つの大字の役員体制や行事、共同作業の見直し、検討

### ②若い住民の役割づくりについて

- ・若者と地域との関わりなどを検討

### ③瑞穂協議会とみずほっとの関係について

- ・2つの組織の役割分担の見直し



話し合いを進めるために

5つの大字や瑞穂協議会、NPOみずほっとに聞き取り調査を実施  
(役員体制や会議の実態が見える化)



## 調査の結果

- ・役員の任期や年間行事、共同作業に違いがあること  
→全ての大字区長の任期は1年なのに対し、協議会の役員の任期は2年
- ・年間の活動時間のうち多くを会議に使っていること  
→「年間延べ活動時間1,076時間」のうち会議は延べ485時間」  
などなど、組織や活動の実態を把握しました。

# 令和2年度の活動について

このような実態を踏まえて、令和2年度は、どのように組織体制を見直すのか話し合いを進めながら、若者の役割づくりに関心を持ち、参加してもらうために何をすれば良いのかなどを検討しています。活動内容については、この「瑞穂地区だより」を通じて、随時、皆さんにお知らせしていきます。